



シニアマーケットにおける 温泉ウェルネスの可能性

株式会社中沢ヴィレッジ
代表取締役会長 中澤敬

草津温泉の最近の動向



市町村魅力度ランキング2023

コロナ前後の総入込客数

2019年度 約 327万人

2020年度 約 194万人

2021年度 約 235万人

2024年度 約 360万人超

「プロが選ぶ温泉100選」22年連続日本一
昨年度じゃらん温泉ランキング第1位、
BIGLOBE温泉番付「東の横綱」



市区町村魅力度ランキング2023				
順位	昨年順位	市区町村	都道府県	魅力度（点数）
26	27	浦安市	千葉県	35.2
27	28	宇治市	京都府	34.9
28	30	倉敷市	岡山県	34.8
29	26	姫路市	兵庫県	34.3
30	32	新宿区	東京都	34.1
30	34	大阪市	大阪府	34.1
32	29	旭川市	北海道	33.2
33	34	釧路市	北海道	32.7
34	42	尾道市	広島県	32.6
35	43	白浜町	和歌山県	32.4
36	31	草津町	群馬県	32.0
36	36	帯広市	北海道	32.0
38	36	横須賀市	神奈川県	31.9
39	44	奄美市	鹿児島県	30.9
39	66	熊本市	熊本県	30.9
41	51	奈良市	奈良県	30.8
41	55	由布市	大分県	30.8
43	60	太宰府市	福岡県	30.4
44	50	浜松市	静岡県	30.3
45	45	渋谷区	東京都	30.1
45	53	志摩市	三重県	30.1
47	47	茅ヶ崎市	神奈川県	29.8
47	59	松本市	長野県	29.8
47	89	千歳市	北海道	29.8
50	72	飛騨市	岐阜県	29.7

市町村魅力度ランキングで1788自治体中、全国36位

出典：草津町役場

出典：株式会社ブランド総合研究所

草津温泉ホテルヴィレッジ



社是

「歩み入る者にやすらぎを 去りゆく人にしあわせを」

独自の提供価値

ホテルを取り囲む大自然 × 希少な3源泉 ×

多彩なアミューズメント

主な客層

メインは3世代ファミリー層だが、季節ごとに入れ替わる

30年来の会員制度を持ち、シニアを中心に継続

コロナ禍を経て大きく変容したのは・・・



ウェルネス

新・湯治

ウェルビーイング

未病・予防・予後

リトリート

老若男女問わず
急速に高まった人々の
「健康に対する意識」
「ストレスへの関心」

腸内環境

フェムテック

睡眠

一見便利なりモートワークの
弊害としての健康への悪影響も

日本の観光はこのままでいいのか？



- これからの草津温泉は？
- 今までの「飲んで食って遊んで騒いで、日常を一時的に忘れる」だけの物見遊山的な観光も良いけれど・・・草津温泉を訪れる360万人のうち18万人いる当社のお客様の、日常の健康へと繋がる貢献が少しでもできないだろうか・・・

「観光のためだけの観光」から、「健康（元気でいる）ための観光」へ

ストレスに起因する現代的な病とは？



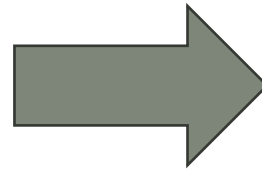
うつ病

アルコール依
存

パニック障害

摂食障害

突発性難聴



こうなってからの対処療法
ではなく、そもそもこうなら
ない

ための対策が重要では？

温泉ウェルネスの「概念」「定義」

(健康と温泉フォーラム温泉ウェルネス研究委員会素案より一部拝借)



英語のwellnessは、「よりよく生きようとする生活態度」を意味する。

温泉ウェルネス（造語）とは、**「心と身体の元気の源を取り戻すこと」を目的とし、**

温泉の持つチカラと、海浜気候や、森林、高原気候など、それぞれの地域の自然資源を活用し、
「休養・保養・療養」それぞれのフェーズで、運動、リラックス（休養）、食（栄養）フィットネス（美容・痩身）

等の質の高い保養プログラムと専門スタッフの育成を目指し、

「心身のバランスを調整し、より健康的な日常を回復するため」のプログラムを

トータルに提供するものの総称と定義する。

特に日本伝統の温泉浴の本質的価値を進化させ、温泉文化の伝統と、
近代的・西洋的なウェルネス行為を複合させる概念で、現在、国（環境省）の取り組む
新・湯治プロジェクトのプロトタイプ（原型）として、2020年ごろから普及し、
今後の健康と温泉と温泉地の新たなあり方の一つを提言している。

薬漬け → 自然治癒力を高めよう

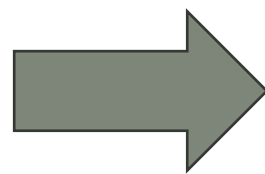


食事

運動

気分転換

が大切



要

自ら気分を変えるための行動が重

温泉は最高の転地療養の場所

- ※ 日常から切り離された空間
- ※ 圧倒的な温泉の効能と癒し
- ※ 自然のチカラを取り込む森林浴散歩

シニア層と温泉ウェルネス

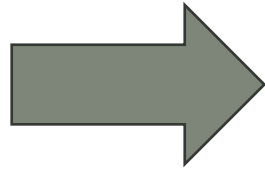


ある程度時間に余裕がある

健康に強い関心がある

温泉から得られる癒しや
効能について理解がある

知的探求心を求めている



年間18万人のお客様は、老若男女問わず季節ごとに客層も入れ替わるが

まずは、長年ご愛顧いただいている

シニア層中心の弊社会員様をメイン

ターゲットに独自の温泉ウェルネ

温泉ウェルネスエデュケーション



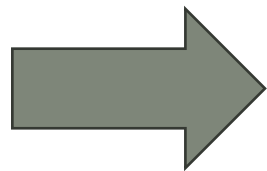
食事

運動

気分転換

は大切だ

が



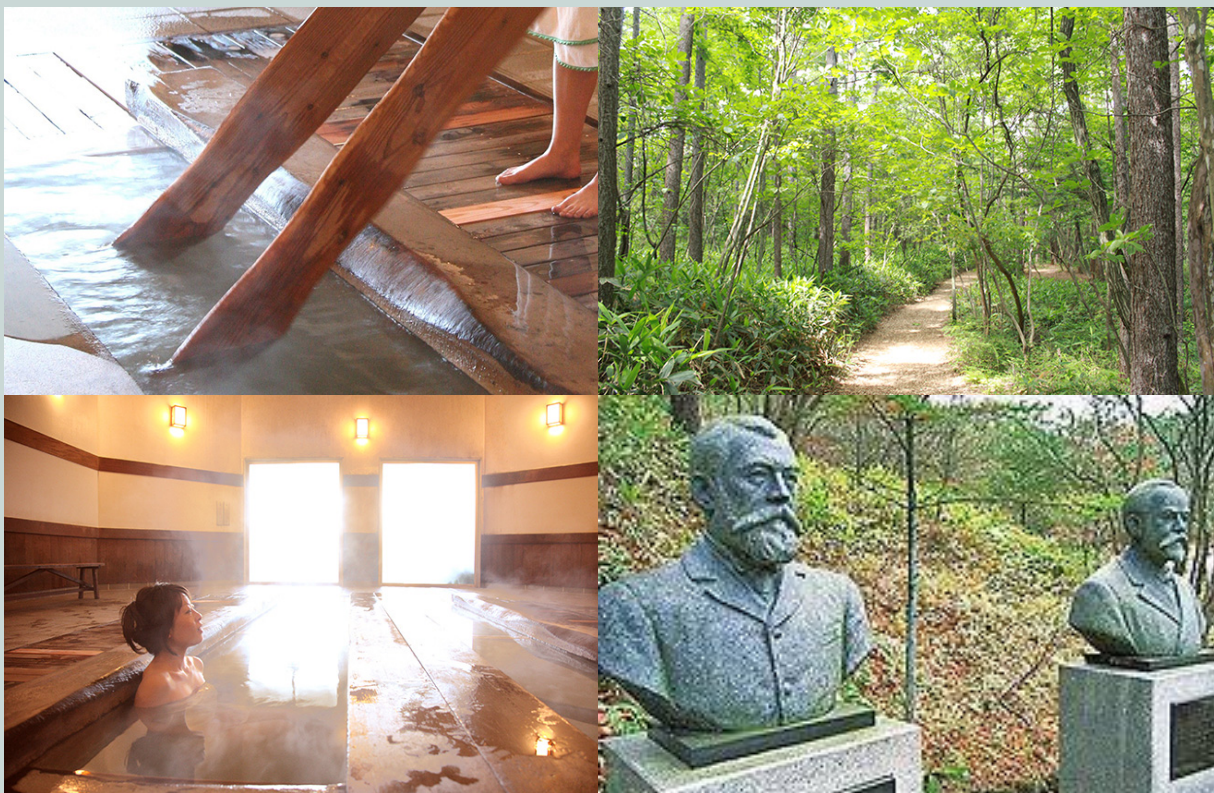
これからの温泉ウェルネスに欠かせない
のは、

シニア層の「知的探求心・好奇心」を
刺激できるエデュケーショナルプログラ
ムでは？

➡ 温泉×自然＝体に良い

だけではなく、具体的にどう健康に寄与するの¹⁰

温泉ウェルネス的 弊社独自の価値



江戸後期から続く宿屋に蓄積された
草津温泉にまつわる**歴史と文化**

明治天皇主治医**ベルツ博士の遺志**
を継いだ温泉保養リゾート経営

3源泉を利用した
草津温泉伝統の「湯もみ体験」と
当社オリジナルの「**湯蒸し体験**」

日本の森林浴の第1人者、神山
恵三氏が日本で初めて森林の健康
効果の実証実験をした広大な**国有林**



歴史や文化に注目していけばいくほど大切になる
将来にわたる温泉文化の継承問題

ONSENを世界語に！

日本の温泉文化を「世界無形文化遺産」に登録しよう！





ご清聴
ありがとう
ございました



株式会社中沢ヴィレッジ

代表取締役会長 中澤敬

